

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 2月 13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401087		
法人名	社会福祉法人 恵光会		
事業所名	グループホーム南串山荘		
所在地	長崎県雲仙市南串山町丙10719番地		
自己評価作成日	平成24年1月20日	評価結果市町受理日	平成24年2月24日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所 1階		
訪問調査日	平成24年2月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

敷地内には、有料老人ホームやデイサービス等が併設されており介護サービスを利用されている方々との交流が在宅のときの関係が続けられている。また、デイサービスでの行事や体操、入浴へ参加することが出来るように各部所間で協力し、利用者様の楽しみ作りを行っています。立地的に高台にあり町内への展望が開けており季節的な景色の変化を話題に出来る環境にあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

自然豊かな場所に立地し、ホームに居ながらにして、四季の移ろいを感じる事ができる。施設長の提案で、入居者集会を立ち上げ、入居者の要望等を運営に反映されている。
朝・終礼の時、職員が交代でマニュアルを朗読されており、それにより接遇に変化が見られるようになった。管理者は、入居者自身に「自分は大切にされている」という自覚を持ってもらう事で、生きがいのある生活を見い出せる様に支援して行きたいとされており、落ち着いた雰囲気の良いホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを目指し、「利用者の思いを受け止め寄り添い、心地よい生活を支援してゆく」という理念を事務所等の掲示して確認や意識付けしながらケアを実践している。	自分たちの指標となる理念を共有し、個々の思いに寄り添い、安らぎを感じる生活環境作りを目指しており、利用者に関わる中で具体化されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りや行事等に参加している。学生や老人会のボランティアを受け入れ交流を行い、施設の夏祭りや敬老会への案内状を出して参加交流を呼びかけている	地域の一員として活動や交流に取り組みされているが、更に地域住民との交流に力を入れていきたいとされている。又、地域への貢献として地元小・中学校の福祉体験の受け入れ等積極的に行われている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に参加していただいた、民生委員や市役所職員等に理解をしていただきながら、職員の身近な相談者に対して体験などを伝え認知症に対する理解していただいている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催している。議題を、事前に委員に送付し会議での意見交換を行い改善し、質の向上を図っている。	利用者に加え、家族、市職員、地域の代表者等の参加の下、日々の報告に留まらず意見や情報交換の場として有意義な会議となっている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	2ヶ月に1回のグループホーム新聞を支所に利用者様と一緒に持参し、とりくみ状況を伝えている。	市とは運営推進会議やホームの新聞持参でも馴染みであり、ニーズの具体等を伝えまたホームの敬老会にも出席を頂きながら協力関係の確立に努められている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>外部研修会への参加を促し、施設内でも資料を基に研修会を行い職員の共有、認識を図っている。</p>	<p>拘束をしない為の工夫の1つとして台所から見える様に鏡を設置し、安全確認をされている。研修で身体拘束の内容とその弊害を認識されており身体拘束をしないケアを実践されている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修会への参加を促し、施設内でも資料を基に研修会を行い職員の共有、認識を図っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>研修会に参加する事で知識を深め、必要時には活用できるように準備をしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>出来るだけ時間を取り説明を行い、ご理解を頂けるようにしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>アンケート用紙やご意見箱を用意したり、運営推進会議でのご家族からの要望を聞き運営に反映できるよう心がけている。</p>	<p>家族会、入居者集会を定期的に行うと同時に、ケアプランの説明時等を利用し言いやすい雰囲気づくりに留意し、出された意見、要望は運営に反映されている。また、時間の設定はあるが無休の相談窓口を設置し、傾聴の姿勢を明確にされている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティングにおいて情報交換を行いケアや環境整備など検討されている。</p>	<p>定期的に職員の意見や提案を言える機会があり、運営に反映させている。急なシフトの調整にも対応してもらった事があり、働く意欲の向上へと繋がっている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>昨年より面談制度を導入し、やりがいや各自が向上心を持てるよう実施されている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内での勉強会や地域の研修会に参加できるようにしている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>雲仙市グループホーム連絡協議会となっており定期的な会議に参加し交流を行っている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>傾聴に勤め各職員が連携を取りできるだけ早く馴染んで頂けるように努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ホーム内を案内しサービス状況を説明し、困りごとや心配事を丁寧に聴くようにしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居希望者のみの相談であったので他のサービスへの繋げる事例は無かったが、入居前に訪問しご本人と面会を行い初期のケア内容を検討している。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>料理の準備や配膳等を手伝っていただいたり、入居者集会を行い意見交換に参加していただいています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃の状況をご家族に話すことにより、日頃のケアへの協力をして頂いている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>敷地内のデイサービスへ遊びに行ったりまた知人がデイサービス利用時に遊びに来られたりしている。地域の祭りや行事に見物に出掛けている。</p>	<p>ほとんどの利用者が地域からの入居であり、隣接するデイサービス利用の友人・知人とふれあう機会が多い。入居前の生活習慣の把握もあり、継続の支援に努められている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>毎日の食事やお茶の時間は職員も一緒にし、多くの会話を持つようにして、役割や活動を通して職員が調整役となっている。時には関係により席替えを行っている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>外出先で出会ったときは声を掛け近況を伺っている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の会話の中や表情から希望などを聞いたり、汲み取り職員間で共有できるようにしている。</p>	<p>日々のかかわりの中で声をかけ、また行動や表情から汲みとり、一人ひとりの意向に沿った支援に努められている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用前に、訪問して本人やご家族から聞き取りを行っている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の暮らしの中で、職員が気付いたことを話し合い共有している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日頃のケアで気付いたことの意見交換を行い、ケアマネと職員とでのカンファレンスに生かしている。</p>	<p>安心してその人らしく暮らせる様に、それぞれの意見を出し合い、現状に即した介護計画を作成されている。毎月評価を行い、日々の記録を基に、介護計画の見直しが行われている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録に食事、水分量、排泄、バイタルチェック、や日々の様子やエピソードなどを記録し、勤務時には職員が確認できるようにしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じて通院や手続き当の支援を行い個々の満足度を高めるよう努力している。</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>老人会ボランティアとの交流を行っている。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。また受診や通院は本人やご家族の希望に応じて対応しており、看護師による医師との連携を行っている。</p>	<p>馴染みのかかりつけ医による受診を支援されている。受診結果は、朝の申し送り時あるいは業務日誌やカードックス等複数への記載で確実に共有できるようにされており、医療機関との連携も図られている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様の日常の気付きや情報を個人記録に記録すると共に口頭での申し送りを密におこない相談しながら受診や看護を受けられるように支援しています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>介護サマリーの提示や退院時の看護サマリーを頂いて入退院がスムーズに行くようにしている。入院時にも近い間隔で面会し家族や入院先との情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>現在まで看取りの事例は無いが同法人より経験のある看護師やケアマネを講師に勉強会を行っている。また、家族や施設の看護師、医師との話し合いを行い方針を決めるようにしている。</p>	<p>看取りの指針を作成し同意をもらわれている。医療機関、家族、ホーム等チームで支えていく体制作りが行われているが、病院へ移行される事が多い。勉強会を開き看取りの体制を整えている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力により初級救急救命の講習を全員対象に受けている。また新入社の者は地域で行われる講習会へ参加している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の施設での避難訓練を実施し、手順についての確認を行っている。食料や飲料水の備蓄まではいっていない。</p>	<p>毎年2回主に夜間想定火災による避難訓練を実施されている。緊急時の持ち出し品や救急箱の用意、寒さをしのぐ物は準備されており水や食料品などは、現在、検討中である。</p>	<p>水や食料品の早急な準備と地震・風水害による避難訓練の実施と、職員だけの誘導の限界を踏まえ、地域のかたと一緒に訓練に参加してもらおう等、地域の協力体制作りにも期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーに配慮したケアに努めている。	前回の外部評価で研修の指摘を受け取り組まれた。外部研修後ホームで伝達講習を行った結果、入居時のノックや声掛け等配慮が見られるようになっている。また、個人記録は事務室に保管されている	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ時間をとり表情や手振りなどから意志を汲み取り本人に確かめながらコミュニケーションを採っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設の一日の流れはあるが、その日の体調や気持ちに合わせた支援を行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服はご本人が好まれ選ばれたものをその日その日に着ていただけるようにしている。時にはマニキュアをされることもあります。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の皮むきやテーブル拭きなど利用者の能力に応じて参加していただいている。	献立表を毎月栄養士に見てもらい、バランスの良い食事を利用者個々に合わせた食事形態で提供されている。準備や片付け等一緒にいき、食事を1日の大切な活動のひとつにとらえられている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通じて栄養バランスを考慮したメニューにしている。摂取量は記録し、必要な水分摂取に気をつけている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各食事後は口腔ケアを行い、清潔を保つと共に、口の内外の状態にトラブルが無いか確認を行っている。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックを行い個々のパターンに応じた声かけ誘導を行っている。</p>	<p>習慣やパターンに応じた個々の排泄支援が行われている。夜間のみ、おむつ使用者もおられるが昼間は全員トイレでの排泄を支援されている。また、おむつやパット等の使用については常に見直しが行われている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食材の工夫を行い、レクやラジオ体操に参加していただき、自然な排泄が出来るように取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴や足浴を交えながら清潔を保っていただくようにしている。入浴の時間帯は施設の都合の面があるが利用者のタイミングに合わせて入浴の支援を行っている。</p>	<p>週に2回入浴日を設け、状態に応じて隣接するサービスのリフト浴も利用されている。立位に応じて職員2人で介助することもあり、利用者は安心してゆっくり入浴を楽しまれている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中は、リビングにおいて皆さんで楽しまれるようにしているが、それぞれの方の気持ちで自室で過ごされ休息されている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬状書をそれぞれ職員が理解すると共に個別日誌に綴じて必要時直ぐに確認出来るようにしている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事の仕度や洗濯物たたみ等その人に応じた役割を担ってもらっている。入居者集会を開催し来月の行事予定やおやつなどの希望を聞きながら支援できるようにしている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>入居者集会において外出先などの希望を聞いているがその日のうちに一人一人の希望には添えないときが多い。お寺が近い為彼岸やお盆などは地域の方の中に参加している。</p>	<p>本人に合わせた移動の配慮をしながら遠出の外出や地域の行事等の参加等、利用者の意見を聞きながら支援されている。墓参り等家族の支援もある。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出したときなど買い物と一緒にしていただく方もいらっしゃるが、買い物はされない方が多い。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望により電話したりすることが出来る体制にあるが現在、電話や手紙を書ける方はいらっしゃらない。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や食堂などは整理整頓に勤め、廊下を季節ごとに飾りなども工夫を行っている。</p>	<p>利用者が大半を過ごす共有空間は、ゆっくり寛げる場となっており、季節感のある物をつまたく活用し、暮らしの場を整えている。整理整頓され、不快な臭いもなく、居心地の良い場となっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関の椅子や食堂のソファなど好みで利用され一人でごたり、話の会う人とおしゃべりを楽しまれている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋スペースに応じて希望のものを持ち込んでいただき自宅での生活の延長線であるように支援している。	仏壇や裁縫箱等思い出の品々、使い慣れた物を持ち込まれ、その人らしく安心して過ごされている様子が窺える。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の居室が分かりやすいようにドアの前には目印になる物を取り付け迷いなく一人でも戻られるようにしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらい
		3, 利用者の1/3くらい
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない